

設置の背景・概要 等

脳神経血管内治療は、低侵襲医療として広く国内外で認知されており、年々そのニーズは高まっている。しかし、アジア及び中近東地域では、脳神経血管内治療を専門に行う医師が少なく、患者が脳神経血管内治療の恩恵を受けられない状況が続いている。その大きな理由として、アジア及び中近東地域では、脳神経血管内治療を教育するためのシステムが整っていないことがあげられている。本邦では、平成 14 年より社団法人日本脳神経血管内治療学会が専門医制度を立ち上げ、規定の症例数を術者及び助手として経験した医師に対して口頭および実技試験を行い、脳神経血管内治療を安全かつ有効に遂行できる力量があると判断した医師に対して専門医資格を与え高い治療レベルの維持がなされている。しかし、アジア及び中近東地域では、このような専門医制度はいまだ存在していない。更に、専門医制度が確立した本邦においても特定の施設に症例が集中することにより、専門医試験受験資格を得るための機会を得ることができない若手医師がいる。

前述の背景に基づいて、脳神経血管内治療の習得を希望するアジア及び中近東地域の若手医師を順天堂大学において教育し、アジア及び中近東地域の脳神経血管内治療のレベルアップを図り、更に、脳神経血管内治療学の効率的及び効果的な教育システムを構築すること。専門医試験受験資格を得るための機会を得ることができない本邦の若手医師と多数の経験を共有することにより、本邦の脳血管内治療専門医育成の一助となること。実験的動脈瘤や動脈硬化モデルなどの作成を背景に脳神経血管内治療で用いる新しい医療器材や薬剤の開発を行うこと。以上を設立の目的とする。

区分	番号	学位論文	全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
英文原著	1		Teranishi K, Yatomi K, Mitome-Mishima Y, Sugiyama N, Yamamoto M, Oishi H. Delayed Hydrocephalus after Combined Treatment with Pipeline Embolization Device and Platinum Coil for Large Unruptured Intracranial Aneurysm: A Report of 2 Cases. Journal of Neuroendovascular Therapy 12: 148-152, 2018	
英文原著	2		Aiko T, Komiyama M, Ishiguro T, Niimi Y, Oishi H. Nationwide survey of pediatric intracranial arteriovenous shunts in Japan Journal of Neurosurgery Pediatrics 22: 550-558, 2018	
英文原著	3		Oishi H, Teranishi K, Yatomi K, Fujii T, Yamamoto M, Arai H. Flow Diverter Therapy Using a Pipeline Embolization Device for 100 Unruptured Large and Giant Internal Carotid Artery Aneurysms in a Single Center in a Japanese Population Neurologia medico-chirurgica (Tokyo) 58: 461-467, 2018	
区分	番号		全著者名、タイトル、雑誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
英文症例報告	1		Teranishi K, Yatomi K, Mitome-Mishima Y, Sugiyama N, Yamamoto M, Oishi H. Delayed Hydrocephalus after Combined Treatment with Pipeline Embolization Device and Platinum Coil for Large Unruptured Intracranial Aneurysm: A Report of 2 Cases. Journal of Neuroendovascular Therapy, 2018 12: 148-152	

英文症例報告	2	Fujii T, Oishi H, Teranishi K, Yatomi K, Yamamoto M. Transvenous shunting point embolization of a superior sagittal sinus dural arteriovenous fistula Journal of Neuroendovascular Therapy, 2018 12: 444-449	
英文症例報告	3	Nonaka S, Oishi H, Tsutsumi S, Ishii H. Posterior fossa arteriovenous malformation with multiple pedicle aneurysms and recruitment of meningeal supply Asian J Neurosurg, 2018 13: 1250-1251	
英文症例報告	4	Nonaka S, Oishi H, Tsutsumi S, Sakamoto K, Okura H, Suzuki T, Ishii H, Yasumoto Y. Spinal dural arteriovenous fistula assumed to be symptomatic after placement of lumbar cerebrospinal fluid drain J Stroke Cerebrovasc Dis. 2018 27: 177-179	
区分	番号	発表者名、発表タイトル（題目・演題・課題等）、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
国際学会発表	1	Hidenori Oishi. The evolution of endovascular treatment for intracranial aneurysms 13th AAFITN (Asian-Australasian Federation of Interventional & Therapeutic Neuroradiology) 2018・コタキナバル（マレーシア）・2018/03/07	
区分	番号	全著者名、書籍名、出版社名、出版年；巻（号）：ページ番号等	国際共同
和文著書	1	遠藤英樹・大石英則，脳血管内治療の進歩2017，診断と治療社・2018年	
和文著書	2	寺西功輔・大石英則，脳血管内治療学，メディカ出版・2018年	
区分	番号	全著者名、タイトル、雑誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
和文症例報告	1	大石英則，フローダイバーターを用いて血管内治療を行った部分血栓化大型脳動脈瘤の1例，脳神経外科ジャーナル Supplement, 2018；1: 70-76	
和文症例報告	2	小野健一郎、大石英則、井中康史、矢富謙治、谷口堯彦，Non-bifurcating cervical carotid artery を伴う頸動脈狭窄に CAS を施行した1例，脳血管内治療，2018；3(2): 60-64	
区分	番号	発表者名、発表タイトル（題目・演題・課題等）、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1	大石英則，マルチモダリティ時代の脳動脈瘤治療：血管内治療を第一選択とする立場から，第38回日本脳神経外科コンgres総会・大阪・2018/05/18	
国内学会発表	2	大石英則，ステント併用脳動脈瘤塞栓術について，第48回日本外科系連合学会学術集会・東京・2018/06/23	
区分	番号	発表者名、演題、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
特別講演・招待講演	1	大石英則，大型巨大内頸動脈瘤治療、フローダイバーターですべてが解決するか？：大型瘤と巨大瘤の治療成績に注目して，第47回日本脳卒中の外科学会学術集会・福岡・2018/03/16	
特別講演・招待講演	2	大石英則，ステント併用コイル塞栓術の功罪，第1回AKI脳血管内治療セミナー・広島市・2018/01/06	
特別講演・招待講演	3	大石英則，ニューロフォームアトラスの有用性とテクニカルチップス，第1回KKNET（北九州脳血管内治療研究会）・北九州市・2018/01/18	
特別講演・招待講演	4	Hidenori Oishi, How do I it? The braid behaves better, 6th ONVI Aneurysm Master Class 2018・デリー（インド）・2018/02/10	

特別講演・招待講演	5	Hidenori Oishi, X-microstent assisted coiling, the pearls, 6th ONVI Aneurysm Master Class 2018・デリー（インド）・2018/02/10	
特別講演・招待講演	6	大石英則, 再開通をどうやって回避するか? スtent併用コイル塞栓術の積極的導入, 第4回岩手 Winter Seminar・盛岡市・2018/02/11	
特別講演・招待講演	7	大石英則, Stent/フローダイバータを用いた脳動脈瘤塞栓術の功罪, 第14回多摩 Stroke 研究会・立川市・2018/02/15	
特別講演・招待講演	8	大石英則, IC-Anterior Choroidal Artery Aneurysm は今後 Flow Diverter によって解決されるのか?, 第7回 Hybrid Neurosurgery 研究会・東京・2018/4/21	
特別講演・招待講演	9	Hidenori Oishi, Endovascular therapy using flow diverter/stents for intracranial aneurysms, Taiwan Society for Neurovascular and Interventional Surgery 2018・台北・2018/5/5~5/6	
特別講演・招待講演	10	Hidenori Oishi, Juntendo University experience of coil embolization using Neuroform Atlas for intracranial aneurysms, ASCNET 2018・平昌（韓国）・2018/06/16	
特別講演・招待講演	11	Hidenori Oishi, Decision making of flow diverter therapy for large/giant intracranial aneurysms, Neurovascon 2018・チェンナイ（インド）・2018/09/08	
特別講演・招待講演	12	Hidenori Oishi, Decision making of stent assisted coil embolization for unruptured intracranial aneurysms, Neurovascon 2018・チェンナイ（インド）・2018/09/08	
特別講演・招待講演	13	大石英則, 急性期脳主幹動脈閉塞症に対する血栓回収療法, 第17回川口脳卒中地域連携研究会・川口市・2018/09/18	
特別講演・招待講演	14	大石英則, Stent/フローダイバータを用いた脳動脈瘤塞栓術の功罪, 山口脳血管内治療セミナー・宇部市・2018/10/06	
区分	番号	発表者名・著者名、活動内容・タイトル等、掲載・発表情報等	国際共同
その他 (広報活動を含む)	1	大石英則, 森健太郎, 未破裂中大脳動脈瘤の治療, 脳神経外科速報 2018 Vol 28 November	